



トルコでも台湾でも粘り強く続けられる反原発の非暴力大衆行動

安倍政権は「集団的自衛権行使容認」に向けて遮二無二突き進もうとしています。これは、地球上のどこでもグローバル資本の権益のあるところには自衛隊を派遣し、彼らの横暴に抗議する各国の市民運動を武力で弾圧することを狙うものです。この権益とは、主として石油などの天然資源などですが、「アベノミクス第3の矢」と言われる原発輸出、そして武器輸出 3 原則見直しによる武器輸出が今後の権益となります。

原発輸出に関しては、トルコとの原子力協定の国会承認が行われましたが、トルコ、インド、台湾等での非暴力の原発反対運動は屈することなく大きく広がっています。日本の自衛隊が、こうした反対運動を弾圧することを私たちは許してはならないと思います。

ByeBye! 安倍政権 世界に築こう 平和と人間の尊厳を 2014 ZENKO in 大阪

- ◆8/2 (土) 10:30-17:00 開会集会、メイン集会
(クレオ大阪中央・ホール)
18:30-21:00 We are the 99%コンサート
(中之島剣先公園 (予定))
- ◆8/3 (日) 9:00-17:00 分野別討議、全体集会、
閉会集会 (エルおおさか他)
18:00-20:00 フェアウェルパーティ
(ドーンセンター)
<海外ゲスト>
アメリカ反戦イラク帰還兵の会 IVAW、韓国青年ユ
ニオン、イラク進歩的青年学生連合など

シンポジウム Part II

8月3日(日) 9:45(開始)-12:30

ドーンセンターセミナー室2 (右図)

(京阪・地下鉄天満橋駅東へ徒歩5分)

『2014 ZENKO (平和と民主主義をめざす全国交歓会) in 大阪』の分散会としての開催となります。参加費：一般 1000 円、学生・障がい者・無職・非正規職 500 円



シンポジウム・ツアー成功のために賛同カンパをお願いいたします。下記郵便振替口座に氏名(団体名)公表の可否を記載して振り込んでいただくようお願いします。(1口1,000円)

郵便振替口座番号：00950-3-61768 名義：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会

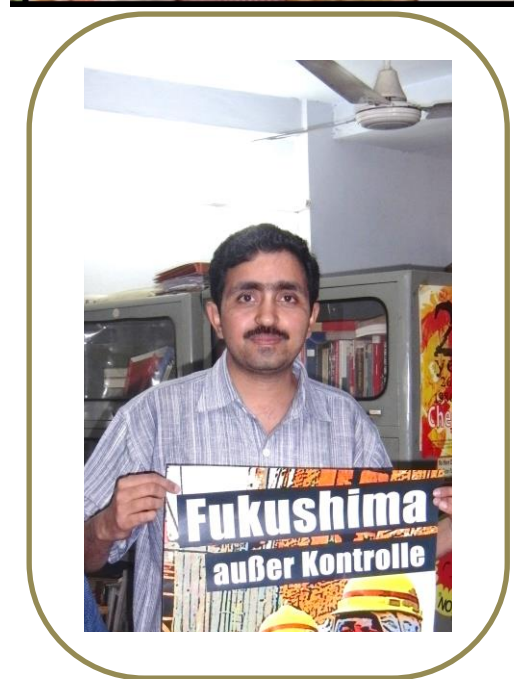
日本は原発を売るな！

2014.8.1、8.3 原発輸出反対 国際連帯シンポジウム in 大阪

東芝、日立、三菱重工など日本の原発メーカーを含む原子力グローバル企業が世界中で原発売り込みに狂奔しています。他国に原子力技術を移転するためには、2国間原子力協定締結が必要です。インドでは3カ所で日本メーカーが関与する原発建設計画があります。インドの反原発運動は1月26日の安倍首相来印時に全国的な「安倍首相歓迎、日印原子力協定反対」のキャンペーンを展開し、協定締結を阻みました。しかし、安倍政権は新首相であるモディ氏を8月にも訪日させ、協定調印を強行しようとしています。また、原発メーカーの責任を追及するインド原賠法を骨抜きにする「原子力損害の補完的賠償に関する条約(CSC)」加盟案の秋の国会提出も企図しています。

さらに、安倍政権は「途上国援助（ODA）の軍事目的での使用を禁じた規定を見直し、外国軍への支援を可能にする方向で検討に入った。」（朝日新聞）と報じられました。「年内にも改定 ODA 大綱を閣議決定する」と言われており、まさに『援助の名で武器輸出する』ことが想定されます。

こうしたなかで、インドでの運動を担ったクマール・スングラーム氏をお迎えして、「原発輸出反対国際連帯シンポジウム」を開催します。原発を輸出させないために私たち日本の市民が何をすべきか、ODA を原発や武器に使わせない運動のあり方について討議します。ぜひ、シンポジウムに賛同、参加をお願いします。また、スタッフとして力を貸してください。



シンポジウム Part I

8月1日（金）18：30～21：00

エルおおさか 708 会場費 500 円

（京阪・地下鉄天満橋駅西へ徒歩5分）

パネリスト

- ① クマール・スングラーム氏（CNDP：核廃絶と平和のための連合）国際キャンペーン担当（インド）
- ② 福永正明氏（岐阜女子大学南アジア研究センターセンター長補佐・客員教授）
- ③ 佐藤大介氏（ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局長）
- ④ 浅野史生氏（インドネシア・コトパンジャン・ODAダム裁判弁護団）



主催：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会、協力：ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン

連絡先：三ツ林 携帯 090-8382-9487、Email: afvvpb814@oct.zaq.ne.jp、佐藤 携帯 080-6174-8358